北陸総合通信局
マスコット「ビビットくん」

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

北陸総合通信局

Hokuriku Regional Bureau of Telecommunications

http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/index.html

2023.6月

北陸総合通信局（金沢広坂合同庁舎）

北陸総合通信局は、総務省の地方支分部局として、北陸３県（富山県・石川県・福井県）における情報通信・放送・電波行政を所管しています。

情報通信行政では、携帯電話のエリア拡大・高速化、 Wi-Fi網や光ファイバー網の整備、IoTを活用した地域の課題解決と地域活性化などを推進しています。電波行政では、航空・海上・陸上の無線局の許認可、不法・違法な無線局の取締り、災害時に情報伝達手段を確保するために、臨時災害FMラジオ放送局の開設や通信機器の貸出・訓練などに取り組んでいます。

勤務地は、金沢市

※採用３年目には２年間の東京勤務も

〒920-8795　石川県金沢市広坂2-2-60
金沢広坂合同庁舎6階

※香林坊まで徒歩3分！！

Hokuriku Regional Bureau of Telecommunications

こんな仕事をしています

Ⅰ 放送行政
魅力ある放送サービスの普及・促進

Ⅱ 情報通信行政
ICTを利活用した地域づくり
安心で快適な情報通信サービス

Ⅲ 災害への備え
災害に備えた通信・放送の確保・訓練
災害時に無線機器の貸出

Ⅳ 電波行政
限りある電波の有効利用
無線局の許認可・監督

Ⅴ 電波監視
電波の利用ルールの遵守
電波利用環境の維持

Ⅵ 郵政行政
便利で使いやすい信書便サービス

北陸総合通信局の組織

総務部

総務課
財務室
信書便監理室

情報通信部

電気通信事業課
情報通信振興課
放送課

無線通信部

電波利用企画課
無線通信課
監視調査課

総合通信相談所

情報通信行政全般
の相談窓口

防災対策推進室
サイバーセキュリティ室

情報通信技術の利活用
による防災・減災対策

サイバーセキュリティ
政策の推進

最近の採用状況

令和４年度

5 名

平成３１年度　５名
平成３０年度　２名
平成２９年度　２名

令和２年度

3 名

令和３年度

4 名

令和５年度

5 名

理系出身
理学

情報通信部情報通信振興課企画調整担当

令和4年4月採用

ICTで北陸地域の活性化に貢献

私は、令和４年４月に入局し、採用２年目の現在まで情報通信振興課に所属しています。これまで補助金に関する相談対応や、セミナー等イベントの開催、自治体を対象に通信インフラの現状や整備要望の把握を目的とした調査等を行ってきました。現在は、地域のデジタル化にむけた自治体と通信事業者のマッチングを図る協議会の運営や、テレワークの推進などを行っています。

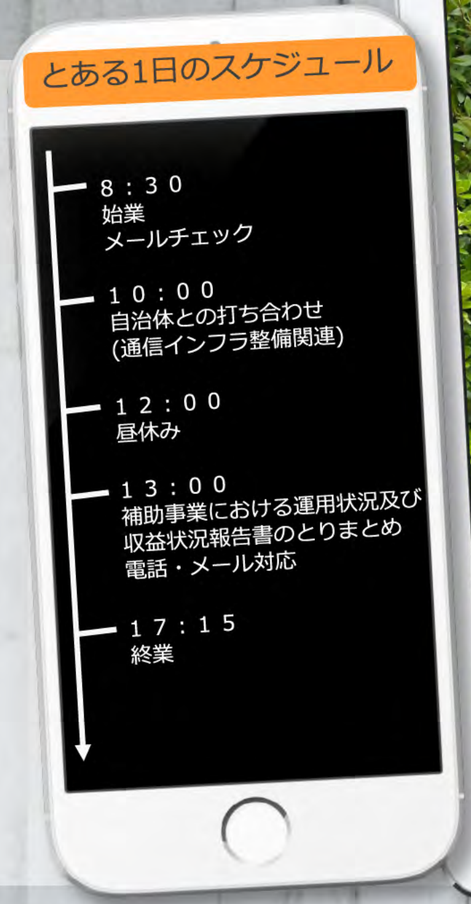
当課は、主に自治体職員の方と関わる機会が多く、地域の抱える課題や要望を最前線で聞き取ることができる魅力的な部署です。時には外部との折衝や内部調整をする際には苦労することもありますが、事業が順調に進んだりイベントが成功した際には達成感も多く、非常にやりがいを感じます。また、情報通信の分野は日々変化するため、その分学びの多い毎日ですが、これまで触れることのできなかった最先端の通信技術に幅広く関わることができ、とても充実しています。

当局の職場では困ったことや疑問があれば、相談に乗ってくださる先輩方や同期の皆さんがいるため、安心して働くことができます。また、休暇が取得しやすくテレワークも気軽に実施でき、柔軟な働き方を選択できるのも当局の魅力だと感じています。ICTに関する知見の有無にかかわらず、少しでも興味を持っていただける方は、ぜひ職場説明会にご参加ください。皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

文系出身
人文学

情報通信部 情報通信振興課 地域振興担当

令和４年４月採用



様々な業務に携われる職場

私は令和４年４月に入局しました。１年目は電波利用企画課、そして２年目の現在は情報通信振興課で勤務しています。

１年目に配属された電波利用企画課では、主に電子申請届出システムLiteでのID・パスワード発行依頼者の本人確認審査、電波利用料の債務者リストの確認、PARTNER(総合無線局監理システム)の保守管理を担当していました。電波利用企画課での業務は無線局に関する知識がある程度必要でしたが、業務を通して知識を身につけることができたため、理解が深まるたびにやりがいを感じるとともに業務への自信につながりました。

２年目に配属された情報通信振興課では、補助事業における報告書のとりまとめや公募申請書の審査など主に補助金関係の業務を担当しています。異動前の業務とは全く異なっていたため異動するまでは不安でしたが、分からないことがあったときは上司や周りの方が丁寧に教えてくださるので安心して業務に取り組めています。新たに携わる業務ばかりなので勉強することは多くありますが、学んだことを積み重ね業務に活かしていけるよう努力したいと思っています。

職場では休暇が取得しやすく、テレワークも実施できるので働きやすい環境が整っていると思います。困ったことがあっても先輩方が相談に乗ってくださるので一人で抱え込む必要はありません。北陸総合通信局に興味を持った方は是非一度職場説明会に参加してみてください。

理系出身
環境学部

無線通信部無線通信課官公庁担当

令和3年10月採用

発展を続ける情報通信の担い手として

１年目は情報通信振興室（現在は情報通信振興課）に配属され、５Ｇ等の導入時に活用できる税制や補助金の審査、イベント・セミナーの運営のほか、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた協議会の事務局を担当していました。

現在は無線通信課（陸上関係）の官公庁担当として、国の機関や地方公共団体に所属する無線局やガス、水道事業、道路管理、防災行政用などの無線局に係る許認可及び検査を行っています。国民の生活に密着した重要な通信を担う無線局ですから、電波法に基づき慎重に審査をするよう努めています。

そのほか、電波伝搬障害防止制度についても担当しています。人命・財産の保護や治安の維持などに利用される重要無線通信が高層建築物等によって突然遮断されることがないように調整を行う業務です。主に建築設計業者から届出を受け、設計図面を確認しながら障害の有無を判定します。慣れない作業が多く判断に迷うケースもありますが、疑問点があれば必ず諸先輩方に相談し、解決策を検討することを心掛けています。

また、当局は休暇制度やテレワークを活用した柔軟な働き方ができる環境です。３年目からの本省勤務を除き、基本的に金沢で働くことができる点も魅力だと思います。

私はこの仕事に就く以前には意識していませんでしたが、情報通信に関する報道は日々、頻繁に目にします。自動運転やメタバースといった技術は日進月歩で開発が進められており将来性のある業界だと感じています。北陸総合通信局の業務に少しでも関心を持っていただけると嬉しいです！

文系出身
経済学

無線通信部無線通信課航空海上担当

令和4年4月採用

新たなことを学び続けられる環境

私は、採用から現在まで、無線通信課航空海上担当として航空機・船舶関係の無線局の許認可・検査業務や無線従事者資格の検定業務等を行っています。許認可業務では、電波法等に基づき適切に審査を行い、無線局免許状等の発給事務を行っています。検査業務では、デスクワークでの書面検査だけでなく、実際に現地に赴き、検査を行うこともあります。航空機・船舶関係の無線局は、人命や安全の確保に必要不可欠であり、責任とやりがいを感じます。また、検定業務では、無線設備の操作に必要な資格である無線従事者の免許証の発給事務を行っています。

航空機・船舶関係の無線局は、設置されている無線機の種類も多様なため、難しいと感じることもありますが、分からないことがあれば、上司の方が丁寧に教えてくださるため、安心して仕事が出来ています。また、研修制度が充実しており、業務を行いながら専門知識を習得することができます。

私がこの職場を選んだのは、人々の生活を豊かにし、様々な社会課題の解決策として注目される通信の分野に携わることができるという点に魅力を感じたからです。また、通信の分野は、日々発展し続けており、常に新たなことを学びながら働くことができます。

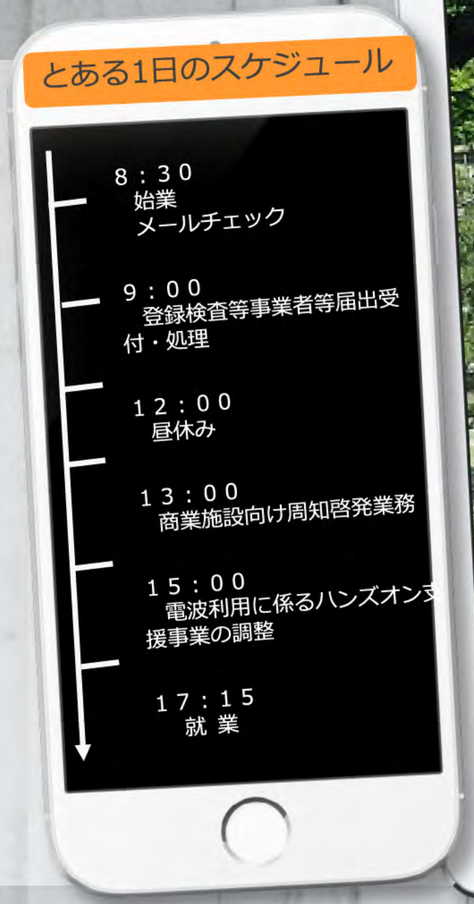
年次休暇が取得しやすく、テレワークも進んでいるため、ワークライフバランスの観点からも、働きやすい職場だと思います。

少しでも興味を抱かれた方は、ぜひ説明会へ足を運んでみてください！

文系出身
法学

無線通信部監視調査課電波利用環境担当

令和４年４月採用



人々の暮らしに安心を与える仕事

私は令和４年４月に入局し、今年で２年目となります。私が所属する監視調査課では、主に電波監視業務を行っています。地域の方々からの情報提供、当局での電波監視など様々な情報を基に、電波の監査、調査を行うことで、人々が安心して電波を利用できる環境の維持に努めています。また、電波法に違反する機器の使用や購入を防ぐため、電波利用ルールの周知啓発活動も行っています。北陸地域のバスや電車、新聞など、様々な媒体を用いて、地域の方々に電波のルールを知ってもらえるよう日々業務に取り組んでいます。

私は文系出身ということもあって、監視調査課に配属となった際、自分はこの職場でやっていけるのかと不安に思うこともありました。実際は、必ずしも理系の知識がなければできない業務ばかりではなく、分からない点は先輩方から一から全て教えていただくことができ、安心して業務に取り組むことができました。

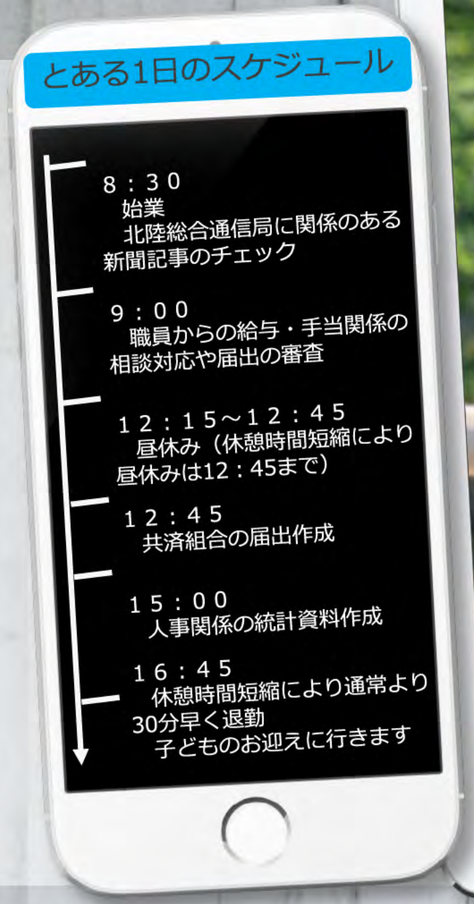
私が北陸総合通信局に入局しようと考えた理由は、電波が様々な媒体を通じて人々の生活を支えているものであり、今後さらに電波の重要性が増してくるものだと考えたからです。またこの分野は、技術の進歩が極めて早く、日々新しいものに触れることができるところも魅力に感じました。

人々の生活を支える仕事がしたい、日々新しいものに触れられる仕事がしたい、と考えているのであれば、是非一度説明会に参加をしてみて下さい。

文系出身
法学

総務部総務課職員係

平成30年10月採用



恵まれた職場環境で北陸のICTを推進

「都市と地方とで集中と衰退の二極化が進んでいく状況で、情報通信分野はこれからの地方のカギになる。」東京での前職を辞め、地元である北陸に戻るときにそう思い、北陸総合通信局に入局しました。

入局1年目（無線通信部陸上課）から最新のモバイル通信方式である５Ｇ（第5世代移動通信システム）を北陸で初めて導入する際の許認可を担当しました。そこで、やはり情報通信技術の発展が都会よりもむしろ地方に必要不可欠だということを実感しました。

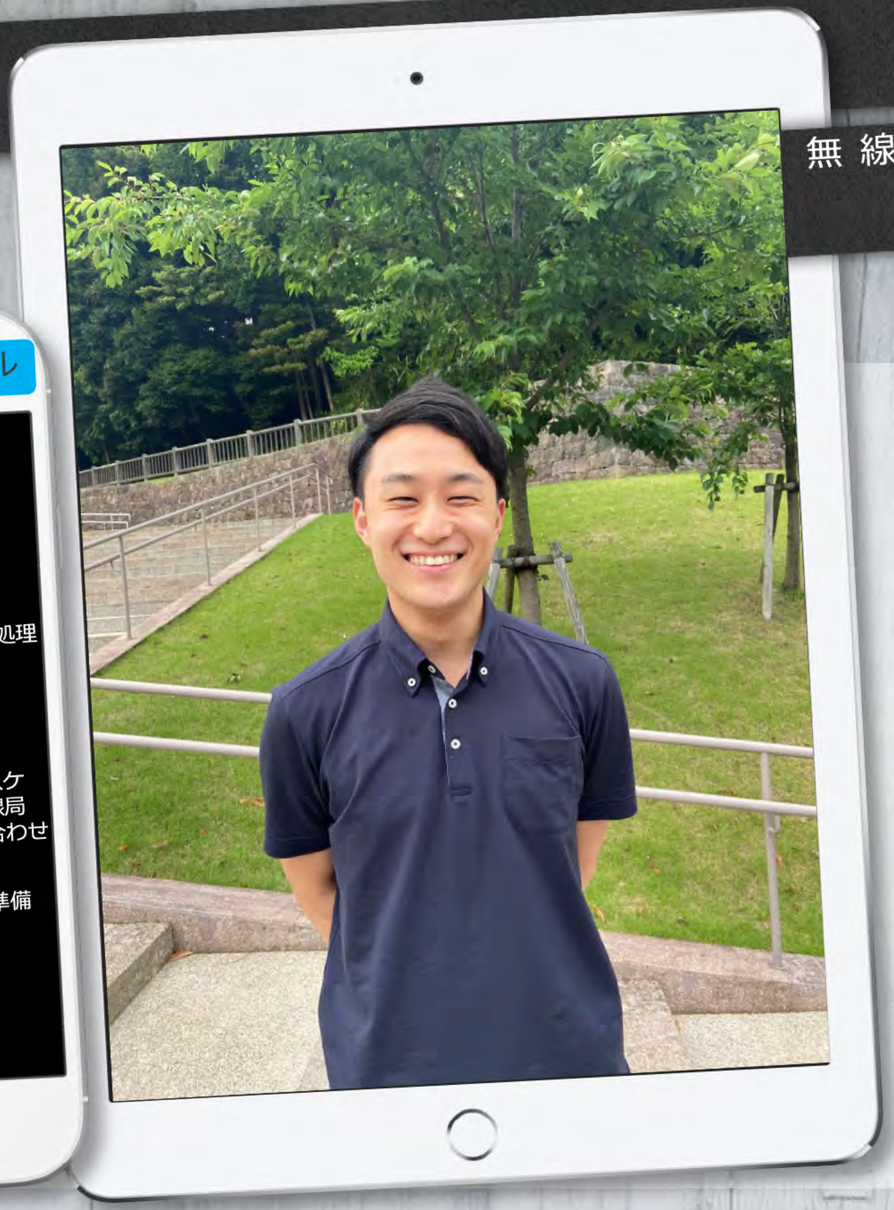
入局５年目の現在は、総務課職員係（入局２年目～）として主に職員の福利厚生・人事・給与を担当しています。直接に情報通信施策を実施する業務ではありませんが、局内の様々な情報や相談事が集まってくる部署であり、一つの課題に対し複数の課で連携をとりながら進められていくのを目の当たりにし、一業務の担当者としてではなく１つの組織としての大きな流れを見ることができる貴重な業務経験だと感じています。

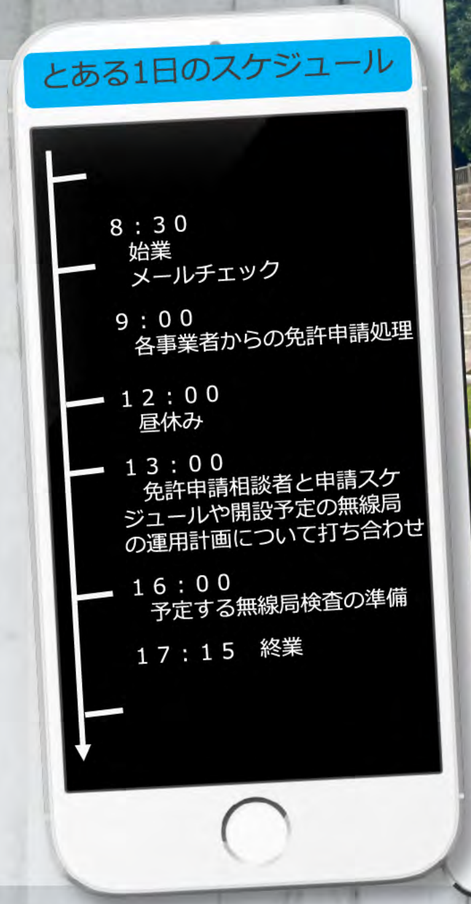
また、ワークライフバランスの両立がしやすい職場環境でもあります。私は令和2年5月から11月まで、民間企業勤務の妻とともに育児休業を取得しました。男性国家公務員の育休が特に奨励されはじめた頃で、男性職員としては長期間の約半年の育児休業も職場では暖かく歓迎してくれました。育児休業復帰後の現在は、育児のための休憩時間短縮制度を活用し、退勤時間を早くして子どものお迎えに行っています。

文系出身
経済学

無線通信部無線通信課一般企業担当

平成31年4月採用





無線を用いた地元企業の円滑な業務の推進

平成31年４月に入局し、2年間無線LAN整備に係る補助金業務、防災関係及び官公庁系の無線局の許認可業務を経験した後、令和3年4月から２年間は総務本省で固定系無線の各種制度整備に関する業務を経験しました。

現在は、北陸局に戻り一般企業担当として、地元企業が業務を円滑に行うために使用する、簡易無線局や登録局といった、各種無線局の申請処理業務を担当しています。

私は文系学部出身で無線や情報通信技術に関しては全くの知識ゼロで入局しましたが、業務を行う上で、上司から無線知識や電波法について、丁寧に指導を受けたおかげで少しずつ理解を深めながら業務に取り組むことが出来ています。まだまだ知識不足なことが多いですが、それだけに学びの機会は多く大きなやりがいを感じています。

ワークライフバランスの面でも、繁忙期には少し残業を行うこともありますが、通常時は定時で退庁できるので、その後の趣味や育児に専念することができています。

北陸総合通信局では、フレックスタイム制度や男性の育児休暇など、様々な制度を活用しながら働くことができるので、安心して子育てに励むことができています。

ワークライフバランスの充実と日々進化していく通信分野の仕事に少しでも興味がある方にはおすすめの職場です。是非一緒に働きましょう！

文系出身
法学

総務部総務課職員係

平成３０年４月採用

やりがいのある充実した毎日

私は北陸総合通信局で電気通信事業課（消費者行政担当）、総務課（広報担当）をそれぞれ1年間経験したのち、令和2年4月から総務本省で2年間勤務し、昨年の4月に北陸局に帰ってきました。総務本省で配属された電波利用料企画室では、電波利用料を使用する施策の予算のとりまとめを行っていました。予算要求から執行対応など様々業務がありますが、本省ならではの業務を経験することができました。

北陸局でも本省でも業務の知識が全くない状態でしたが、周りの方々に優しく教えていただきました。聞きやすい雰囲気なので、疑問点や不安なことがあれば自分１人で抱え込まずにすぐに相談することができます。

現在は、総務課の職員係で職員の給与や採用に関わる仕事をしており、日々新しいことを学びながら働いています。責任のある仕事ですが、自分の知識が増えていくのが楽しみとなっています。

また、仕事の一環で最新の技術に触れられることも総務省ならではの楽しみだと思います。情報通信関係のイベントに参加し、5Gを活用した臨場感あふれるスポーツ観戦やVR等様々な体験をすることができました。

業務内容の面白さはもちろんのこと、働きやすさも魅力の1つです。年休を取得しやすい環境ですし、最近はテレワークも活用してワークライフバランスの向上に努めています。

今、世間からも注目されているIoTや5Gに関わる仕事ができるこの職場で、一緒に働きませんか。説明会の場でお待ちしております♪

文系出身
教育学

情報通信部放送課放送担当

平成３０年４月採用

理解を深めながら仕事をする

平成30年４月に入局後、まず北陸局で２年勤め、次に総務本省で勤務しました。

現在は北陸局の放送課でケーブルテレビの許認可等に携わっています。

主な業務内容は、「ケーブルテレビ事業者」等から提出された申請書や届出書を法律に基づき処理することです。業務上、放送法や電波法等に触れる機会が多く、専門用語の理解や法律の解釈が難しいと感じることがあります。しかし、上司の方々がわかりやすく丁寧に教えてくださるので、１つ１つ理解を深めながら業務を進めることができます。さらに、ケーブルテレビに関する本や法律の解説書なども充実しているため、書籍で基礎を学びながら仕事をしています。

北陸局を希望した理由は、職場説明会に参加して、職場の雰囲気が良いと感じたからです。また、情報通信行政、放送行政、電波行政など幅広い分野の仕事に携わることができる点も魅力的でした。

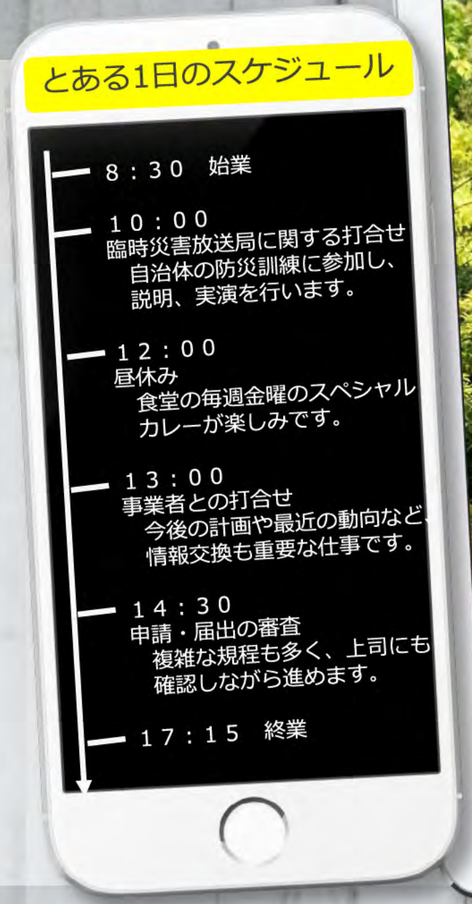
実際に、職場の雰囲気はとても良いと感じます。加えて、年休が取得しやすくテレワークも推進されているため、ワークライフバランスの観点からも働きやすい職場だと思います。

ワークライフバランスを大切にしながら、様々な分野の仕事に携わりたいと思う方に、ぴったりの職場だと思います。興味のある方はぜひ、職場説明会にお越しください。

文系出身
法学

情報通信部放送課放送担当

平成29年4月採用



知れば知るほど、やりがいのある仕事

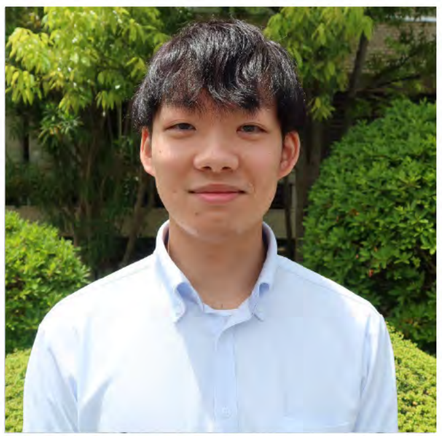
北陸局で２年間、総務本省で２年間勤務した後、令和３年の４月から北陸局に戻り、放送課で勤務しています。

本省での２年は決して楽なものではありませんでしたが、自分が携わっていた案件が翌日トップニュースになっていたり、大臣会見や国会議員との会議に立ち会ったりと、たくさんの貴重な経験を積むことができました。つらかったことも嬉しかったことも一生の思い出です。これからは、今まで身につけた知識と気概を地元のために発揮する番です。まだまだ修行中ですが、少しでも役に立てるよう頑張っていきます！

現在は、テレビやラジオを放送するために必要となる許認可や、今後の政策立案等のための実態調査などを担当しています。生活の一部となっているテレビ放送をどの地域でも視聴できるか、視聴覚障害者等の方々でも情報を得ることができるよう字幕付与等の措置が講じられているか、災害時でも必要な情報を届けることができるか、といった点にも重点を置き、放送事業者にも御協力を頂きながら、日々業務に取り組んでいます。

総務省が具体的にどのようなことをしているところか、あまりご存じない方も多いかもしれません。テレビ、ラジオ、５Ｇ・光ファイバ等の全国展開、携帯電話をはじめとする電気通信事業の競争促進など他にも様々ありますが、これら全てに総務省が深く関わっています。社会に欠かすことのできないICTに携わるこの職場で、私たちと一緒に働きませんか！

令和４年１０月、令和５年４月採用者の紹介



令和4年10月採用１名、令和５年4月採用４名の新人も１年目から活躍中！

令和４年10月１日に1名、令和５年４月１日には4名が当局の職員として新たに加わりました。

令和５年度の新規採用者向け研修は、４月５日から１３日までの間、公務員制度、機構・定員、予算、国会などについてWEB研修を受け、その後４月14日から21日までの間、東京都国分寺市にある情報通信政策研究所で、電波法、放送法、電気通信事業法、無線工学の基礎、ネットワーク技術などの情報通信分野の基礎知識を学び、研修後、**北陸総合通信局（金沢市）での勤務**となり、各配属先で１年目から活躍中です。

採用に関する Q&A

Q１ 勤務地はどこですか？

A１　石川県金沢市です。
北陸総合通信局は、北陸3県（富山・石川・福井）を管轄していますが、勤務場所は金沢市内（金沢広坂合同庁舎）であり、ほかに出張所や事務所等はありません。

Q２ 金沢市以外での勤務はありますか？

A２　課長補佐級までは、ほとんどの職員が金沢市にある金沢広坂合同庁舎で勤務します。

ただし、採用後３年目に、人材育成の一環として、一定期間（現行２年間）総務省の本省内部部局（霞が関）で勤務をすることになっています。全ての職員が、本省での仕事を知る必要があり、人脈作りにも欠かせないものと考えているからです。皆さんの適性・希望等を考慮したうえで、再び本省で一定期間の勤務をすることもありますが、希望しない場合は居住地移転を伴う人事異動を原則行っていません。

希望して本省内部部局勤務に変更する方、その上で、在外公館、自治体等で勤務している方や、課長昇任後に他の総合通信局で管理職として勤務している方もいます。特に変わった例としては、総合通信局職員のまま、南極地域観測隊員として南極で活躍している方もいます。

Q３ 北陸総合通信局ではどのような人材を求めていますか？

A３　採用にあたっては、試験区分にとらわれず、人物本位での採用を行っています。

国家公務員としての役割を十分認識し、また、誠実さと協調性をもって何事にも積極的に取り組み、自分の能力を最大限に活かそうと努力する人材を求めています。

ICT、IoTは、農林水産業、伝統産業、医療、介護、教育、雇用、行政など様々な分野で活用されています。放送、電気通信事業、無線通信関係だけでなく、様々な業界の方々、老若男女、多くの方の話をしっかり聞き、仕事に活かすことができる人材を求めています。

Q４ 採用はどのように決定するのですか？

A４ 人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）合格した方を対象に採用面接を実施し、面接を通じて皆さんの公務に対する思いや長所、積極性などをお聞きし、これらを総合的に判断して決定します。

採用に関する Q&A

Q５ 採用までの流れはどうなっていますか？

A５　人事院から紹介されているとおりの一般的な採用の流れです。

例えば、国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）第一次試験後、人事院が主催する官庁合同業務説明会が開催されます。

当局の業務説明会では、業務内容や採用について直接説明を受けることができ、若手職員や女性職員との懇談の機会もありますので、ぜひ参加いただければ幸いです。

その後、官庁訪問（採用面接）を行い、国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）最終合格者発表後に、合格者の中から採用者を決定（内定）します。

Q６ 採用は技術系区分の方が有利ですか？

A６　ICT、IoTに関する幅広い分野の業務を行っていることから、技術系の方がこれらの業務になじみやすいというイメージがあるかも知れませんが、有利不利はありません。ここ数年は「行政区分」の方も多く採用しています。

採用後、多種の研修や実際の業務を経験して、職員は試験区分にかかわらず様々な分野の業務で活躍しています。

業務を行う上では、管轄区域である北陸３県の地勢等に精通していただくことがとても大切なことです。

Q７ 採用後はいろいろな業務を経験できますか？

A７　本人の希望や、適性などを考慮して、より多くの部署での業務経験を積んでいただくことを目的に、一定期間ごとに異動します。

北陸総合通信局では、若手職員は管理部門（総務・財務）よりもできる限り、直接、情報通信(放送、電気通信)、無線通信分野に関係する課・室に配属し、いち早く専門的知識を習得できるようにしています。

Q８ 女性にとって働きやすい環境ですか？

A８　現在、女性職員は、無線局の許認可事務、ICT（情報通信技術）の利活用の推進、局全体の総合調整など、幅広い業務で活躍しています。

また、育児休業を経て復職し、復職後も保育時間や子の看護休暇などの子育て支援制度を活用したり、周囲の理解やフォローを得て、仕事と育児の両立を維持している職員もたくさんいます。

他の総合通信局では管理職となっている方もいます。

男性の産休･育児休暇を促進するとともに女性にとって働きやすい環境となるよう努めています。

※令和２年度に男性１名が６ケ月の育休を取得

採用に関する Q&A

Q9 入局後のスケジュールについて教えてください。

A9 年度当初（４月始め）から約１ケ月程度、総務省本省（霞が関）及び情報通信政策研究所（総務省職員研修施設：東京・国分寺市）において、国家公務員として必要な知識やビジネスマナー、ICT（情報通信技術）、無線通信技術の基礎などを学ぶ研修を受けていただきます。

その後、当局に戻った後は配属先の課室にて先輩による指導、アドバイスを受けながら業務を行うこととなります。

Q10 入局後のキャリアアップはどのようになっていますか？

A１０ 入局後は、係員としてスタートし、局内の様々な業務を経験しながら主任、電気通信専門官（電波監視官・電波検査官・企画監理官等）、係長（チーフ専門官）、課長補佐（上席専門官等）へと昇任していきます。

係長級に昇任後は、担当業務に精通した中堅職員として、係内の業務の取りまとめや係員個々の業務目標達成のサポートなど、係の中心となって活躍していただきます。

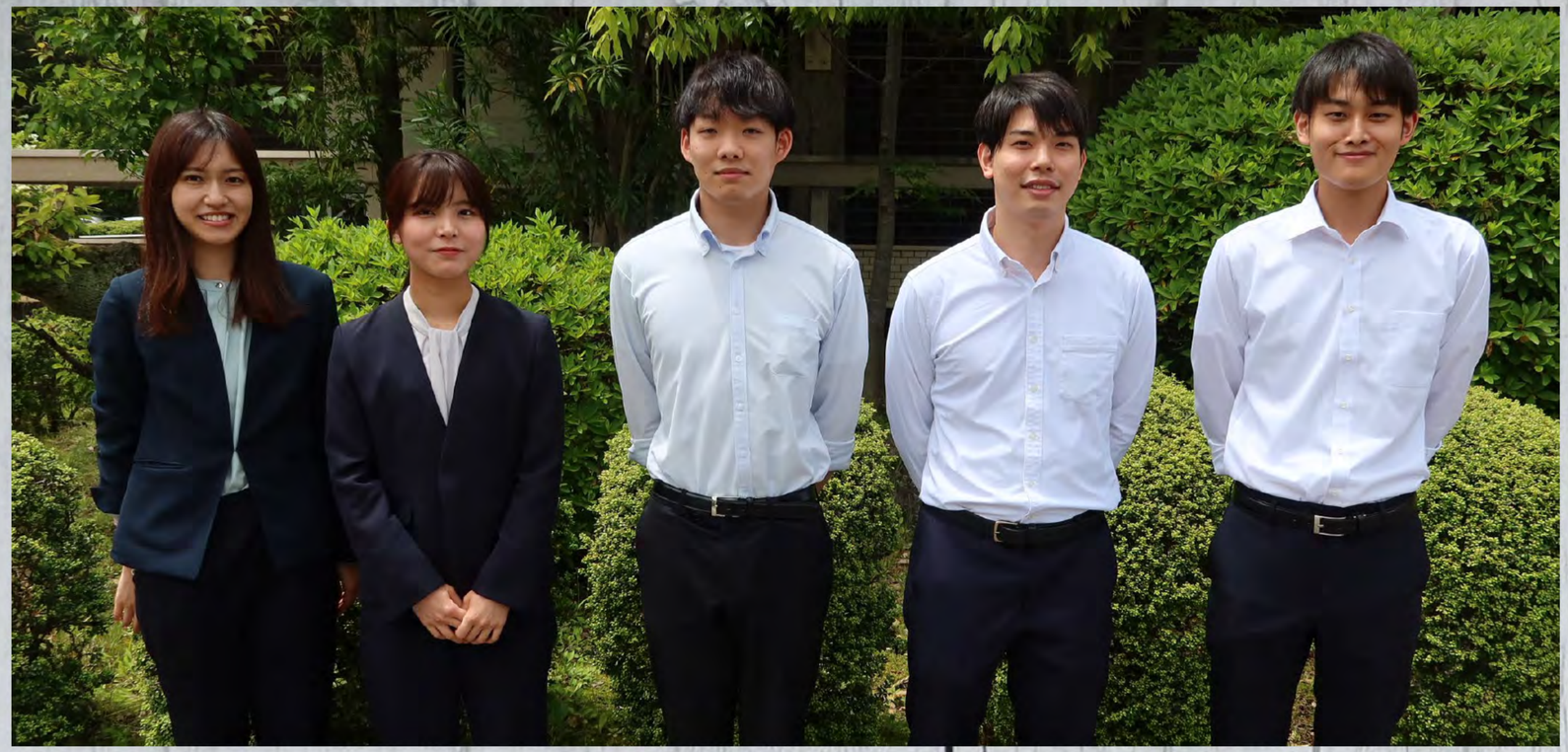
課長補佐級に昇任後は、将来のキャリアアップ（課長昇任）を念頭に、これまで培った知識と経験を活かし、後輩職員の指導・育成を行うとともに、課・室全体の業務と施策を実行する推進役として活躍していただきます。

進化し続けるICTを地域や経済活動に生かし、北陸の「未来」をつくる仕事を一緒にしませんか。

ご質問などがございましたら
当局の採用担当までお問い合わせください。

総務省北陸総合通信局
総務課職員係
電話： 076-233-4413
riku-rbt.syokuin@soumu.go.jp

一緒に働ける日を楽しみにしています



～令和５年度新規採用者一同～